

子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

1. 計画の趣旨

江別市子ども・子育て支援事業計画「えべつ・安心子育てプラン（以下「プラン」という。）は、市が展開するさまざまな子育て関連施策の充実を図り、子育て環境を整備することにより、江別市の子どもが健やかに育ち、親が安心して子どもを産み、育て、就業と子育ての両立ができる社会の実現のため、5か年の基本目標や取り組みを取りまとめたものです。

（平成27年3月策定 計画期間：平成27～31年度）

2. 計画の位置づけ

- ・ 子ども・子育て支援法第61条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」
- ・ えべつ未来づくりビジョン〈第6次江別市総合計画〉の個別計画

3. 基本目標

プランにおいては、基本理念「みんなで協力、子育て応援のまち・えべつ」を実現するために、次の3つの基本目標を柱として総合的に施策を展開しています。

- ① 「子どもが笑顔で育つ」まちづくり【子ども自身の育ちを支援】
- ② 「安心して子どもを産み育てる」まちづくり【子育て家庭への支援】
- ③ 「子育てを地域で応援する」まちづくり【子育て環境の充実】

4. プランにおける量の見込みと提供体制の状況

各施策、事業等の量の見込みと提供体制の状況は、以下のとおりです。

（1）幼児期の教育・保育の提供体制等の状況

（単位：人）

区 分	平成 27 年度				平成 28 年度			
	1号認定 幼稚園 (教育)	2号認定 (保育)	3号認定 (保育)		1号認定 幼稚園 (教育)	2号認定 (保育)	3号認定 (保育)	
	3-5 歳		0 歳	1-2 歳	3-5 歳		0 歳	1-2 歳
プランにおける量の見込	1,650	739	151	478	1,644	736	148	454
実績【入園児童数】	1,727	678	117	446	1,732	644	111	441
プランにおける提供体制(A)	2,038	688	113	350	1,816	817	131	402
実績【利用定員】(B)	2,045	688	110	374	1,951	707	111	402
(B)-(A)	7	0	▲ 3	24	135	▲ 110	▲ 20	0

教育認定（幼稚園含む）は、概ねプランどおり推移しています。

保育認定（2号・3号）の利用定員は、前年度と比較して48人の増加となりましたが、プランにおける提供体制との比較では不足している状況にあります。

3号認定（0～2歳児）ニーズの高まりに伴い、将来的に2号認定（3～5歳児）の受け皿整備が必要となることも見込まれることから、引き続きプランとの整合を図りつつ、待機児童の状況を把握しながら、提供体制の確保に努めてまいります。

（2）地域子ども・子育て支援事業の提供体制等の状況

①利用者支援事業

区分	単位	平成27年度			平成28年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)	プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込 提供体制	箇所	2	2	0	2	2	0

子育てひろば「ぽこあぽこ」及び市役所子育て支援室に専任の職員2名を配置し、子育てサービスや教育・保育施設の利用相談等、様々な子育て相談に対応しているほか、地域あそびのひろばや保健センターを会場に実施している出張相談等も行っています。前年度から増減はなく、プランどおり進捗しています。

②地域子育て支援拠点事業

区分	単位	平成27年度			平成28年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)	プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込	人(月)	6,600	9,322	2,722	6,600	10,182	3,582
提供体制	箇所	7	7	0	7	8	1

公設・民間合わせて8か所の子育て支援センター（江別地区2か所・野幌地区4か所・大麻地区2か所）において、親子の交流、遊びの場の提供、子育て相談、講習会等の事業を行っています。

平成28年11月に「よつば保育園」併設の「ぽろっこ」を開設したことにより、プランを前倒しして進捗しています。

地域への浸透が進んだことにより、前年度と比較して860人、プランと比較して3,582人の増となっています。

今後とも地域の実情に応じ、子育て支援センターの設置を検討しながら、事業内容の充実に努めてまいります。

③妊婦健康診査

区分	単位	平成 27 年度			平成 28 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)	プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込	人(年)	699	676	▲ 23	683	676	▲ 7
提供体制	回	9,786	7,653	▲ 2,133	9,562	7,764	▲ 1,798

④乳児家庭全戸訪問事業

区分	単位	平成 27 年度			平成 28 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)	プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込	人(年)	688	655	▲ 33	674	703	29
提供体制							

妊婦や乳児の健康状態や生活状態を把握して適切な支援につなげるための事業です。妊婦健康診査は、前年度と比較して利用者は同数、受診回数は微増となりました。乳児家庭全戸訪問事業は、子どもが生まれた世帯・1歳未満の子どもがいる転入世帯が増加したことにより、平成28年度はプランを上回りました。今後とも関係機関と連携しながら、事業を推進してまいります。

⑤養育支援訪問事業

区分	単位	平成 27 年度			平成 28 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)	プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込	人(年)	181	208	27	181	190	9
提供体制							

⑥子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

区分	単位	平成 27 年度			平成 28 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)	プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込	人(年)	61	66	5	59	21	▲ 38
提供体制							

養育支援訪問事業及び子育て短期支援事業は、養育支援が特に必要な家庭に対して短期集中的に養育を行う事業です。養育支援訪問事業は概ねプランどおり、子育て短期支援事業はプランを下回りました。引き続き様々な相談に対応する中で、適切なサービス提供につなげてまいります。

⑦ファミリー・サポート・センター事業

区分	単位	平成 27 年度			平成 28 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)	プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込 提供体制	人(週)	59	30	▲ 29	55	24	▲ 31

子育て支援に関する援助を依頼する会員と提供する会員のマッチングにより、子育てを地域で支える仕組みを推進する事業です。

利用は減少傾向であり、今後は他自治体の実施状況を参考にするなどして、事業の在り方について検討してまいります。

⑧一時預かり事業

【幼稚園】

区分	単位	平成 27 年度			平成 28 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)	プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込 提供体制	人(年)	69,326	82,430	13,104	69,149	99,913	30,764

【幼稚園以外】

区分	単位	平成 27 年度			平成 28 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)	プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込 提供体制	人(年)	8,752	8,468	▲ 284	8,752	8,715	▲ 37

⑨延長保育事業

区分	単位	平成 27 年度			平成 28 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)	プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込 提供体制	人	634	631	▲ 3	634	646	12

女性の就労率向上など、保護者ニーズの高まりがみられ、幼稚園の一時預かりは大幅にプランを上回り、幼稚園以外の一時的預かり及び延長保育も概ねプランどおりの利用となりました。

今後も、多様な働き方を支える保育環境を提供するため、実施施設の拡大等を検討してまいります。

⑩病児・病後児保育事業

区分	単位	平成 27 年度			平成 28 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)	プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込 提供体制	人(年)	1,083	1,664	581	1,060	1,347	287

市内保育施設（1箇所）に運営の一部を補助することにより、子どもの病中・病後の保育を提供しています。

前年度と比較すると利用は減少したものの、平成28年度もプランを超過して利用されていることから、利用実態の把握等、事業のあり方を検討してまいります。

⑪放課後児童クラブ

区分		単位	平成 27 年度			平成 28 年度		
			プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)	プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込	低学年	人	586	642	56	602	640	38
	高学年	人	103	36	▲ 67	103	65	▲ 38
提供体制【利用定員】		人	673	677	4	673	706	33

小学生の子を持つ保護者の就労支援とともに、放課後の児童の生活の場の確保及び健全育成を目的として、公設及び民設により放課後児童クラブを実施しています。

平成28年11月に「江別第一小学校放課後児童クラブ」を開設したことなどにより、前年度と比較して利用定員が29人増加し、プランを超えて進捗していますが、引き続き、的確にニーズを把握する中で、提供体制の確保に努めてまいります。

5. まとめと今後の展開

- 平成28年度においては、出生数に改善が見られたことにより、妊婦・新生児に関する事業の実績が向上しました。
- 転入世帯等の増により、未就学児及び児童数もプランの推計子ども人口を上回っており、今後においては、プランとの整合性を図りつつ、子どもを取り巻く環境・女性の就労率向上等の社会情勢の変化に柔軟に対応しながら子育てに関する施策を展開してまいります。
- 平成29年度は計画の中間年に当たることから、国の基本指針及び手引きに基づき、見直しの必要性について検討してまいります。

6. その他

関連する主な事業の状況は、別紙のとおりです。